

# 令和6年度山形県いじめ問題対策連絡協議会

日 時 令和6年5月27日(月)

14:00～15:00

場 所 県庁講堂(オンライン併用)

## 次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 協 議

(1) 令和5年度におけるいじめに関する調査結果報告等について

(2) いじめ問題等への対応及びいじめの防止等に向けた取組について

(3) 関係機関及び団体の令和5年度いじめの防止等に係る取組の報告  
及び令和6年度いじめの防止等に係る事業計画等について

4 そ の 他

5 閉 会

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍する等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（「いじめ防止対策推進法」）

## 令和6年度山形県いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

敬称略

番号	機関	役職名	氏名
1	山形県知事		吉村 美栄子
2	山形県いじめ問題審議会	山形県いじめ問題審議会長 (東北文教大学短期大学部子ども学科長)	奥山 優佳
3	山形県青少年育成県民会議	山形県青少年育成県民会議会長代行	伊藤 康則
4	山形県医師会	県立こころの医療センター院長	神田 秀人
5	山形県弁護士会	弁護士	青柳 紀子
6	山形県公認心理師・臨床心理士協会	山形県公認心理師・臨床心理士協会長	伊藤 洋子
7	山形地方法務局	山形地方法務局人権擁護課長	森脇 聡巳
8	山形県PTA連合会	山形県PTA連合会長	武田 靖裕
9	山形県PTA連合会母親委員会	山形県PTA連合会母親委員長	高橋 あゆみ
10	山形県高等学校PTA連合会	山形県高等学校PTA連合会長(山形東TA)	古沢 和明
11	山形県特別支援学校PTA連合会	山形県特別支援学校PTA連合会長	加藤 麗
12	山形県私立中学高等学校PTA連合会	山形県私立中学高等学校PTA連合会長	飯田 泰英
13	山形県私立幼稚園・認定こども園協会	山形県私立幼稚園・認定こども園協会会長	千葉 亮子
14	山形県私立中学高等学校協会	山形県私立中学高等学校協会理事	橋本 有峰
15	山形県市町村教育委員会協議会	大江町教育委員会教育長職務代理者	山家 貴代
16	山形県市町村教育委員会協議会教育長会	山形県市町村教育委員会協議会教育長会長	金沢 智也
17	山形大学附属学校運営部	山形大学附属学校運営部副部長	澁江 学美
18	山形県連合小学校長会	天童市立寺津小学校長	佐藤 美和子
19	山形県中学校長会	山形市立山寺中学校長	高橋 郁子
20	山形県高等学校長会	山形県立天童高等学校長	高橋 久美子
21	山形県特別支援学校長会	山形県立ゆきわり養護学校長	鍮水 直子
22	県教育委員会	山形県教育委員会教育長	高橋 広樹
23	県警察本部	山形県警察本部長	鈴木 邦夫
24	県総務部	山形県総務部長	岡本 泰輔
25	県しあわせ子育て応援部	山形県しあわせ子育て応援部長	西澤 恵子
26	山形県福祉相談センター	山形県福祉相談センター所長	阿良 正輝

## 令和5年度本県のいじめに関する定期調査の結果について

## 1 調査期間

R 5 年度：令和 5 年4月1日～令和 6 年3月31日

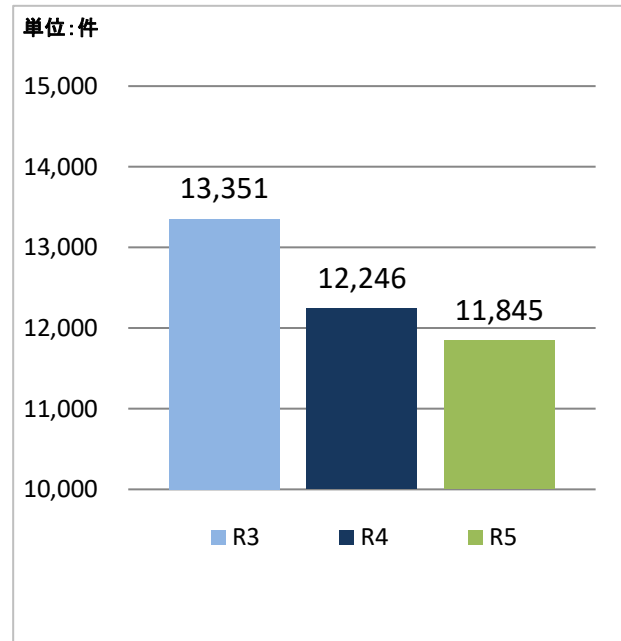
R 4 年度：令和 4 年4月1日～令和 5 年3月31日

R 3 年度：令和 3 年4月1日～令和 4 年3月31日

## 2 いじめの状況

## (1)ー1 学校種別いじめの認知件数

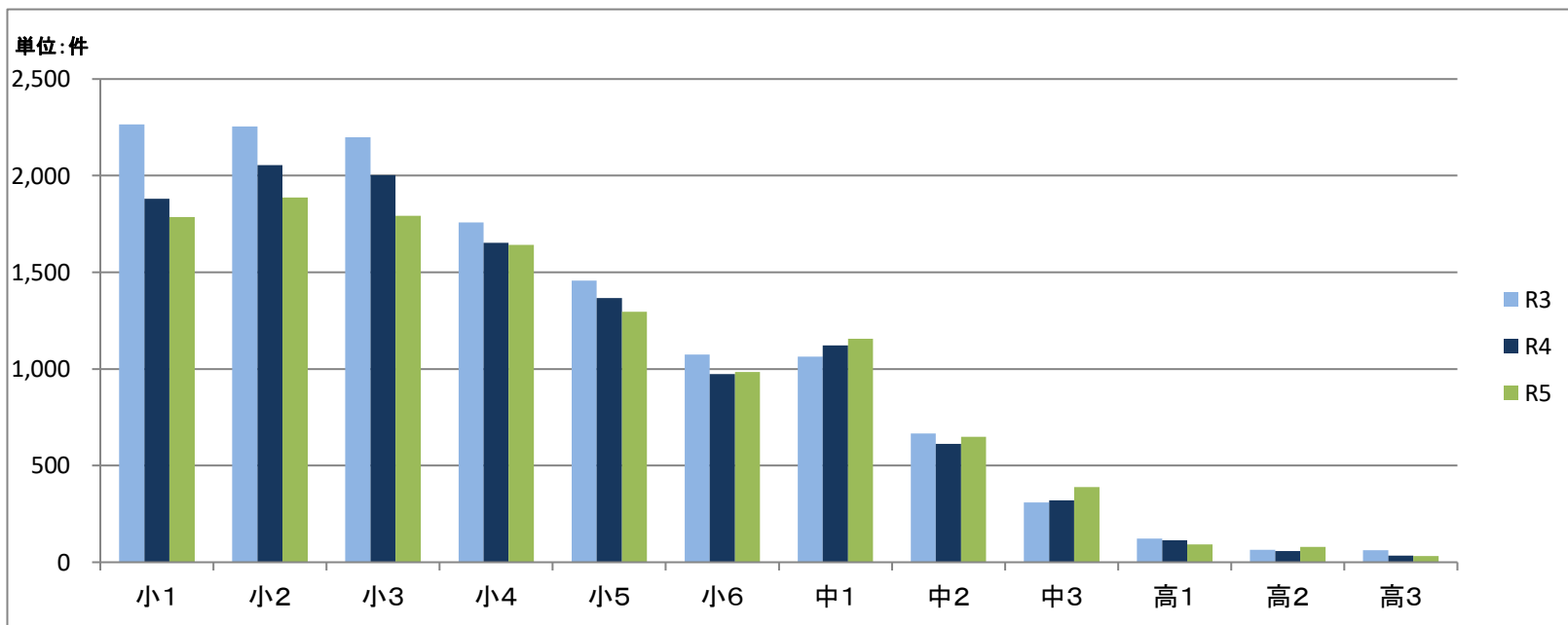
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
R3	11,010 件	2,040 件	249 件	52 件	13,351 件
R4	9,929 件	2,054 件	207 件	56 件	12,246 件
R5	9,388 件	2,196 件	205 件	56 件	11,845 件
前年増減	-541 件	142 件	-2 件	0 件	-401 件
前年比	94.6%	106.9%	99.0%	100.0%	96.7%



## (1)ー2 過去3年間の学年別認知件数(小中高)

単位：件

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
R3	2,266	2,255	2,198	1,759	1,457	1,075	1,063	667	310	122	64	63
R4	1,880	2,055	2,003	1,652	1,366	973	1,121	613	320	114	58	35
R5	1,785	1,887	1,792	1,643	1,296	985	1,157	650	389	93	79	33



## (2)いじめの発見のきっかけ(全校種合計)

	R3		R4		R5	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	353 件	2.6 %	400 件	3.3 %	330 件	2.8 %
アンケート調査等学校の取組により発見	9,617 件	72.0 %	9,460 件	77.2 %	9,321 件	78.7 %
本人からの訴え	1,732 件	13.0 %	1,157 件	9.4 %	1,102 件	9.3 %
本人の保護者からの訴え	1,398 件	10.5 %	997 件	8.1 %	913 件	7.7 %
その他	251 件	1.9 %	232 件	1.9 %	179 件	1.5 %

(3) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R3	R4	R5	前年増減	前年比
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	8,253 件	7,620 件	7,704 件	84 件	101.1%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	2,040 件	2,034 件	1,930 件	-104 件	94.9%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3,732 件	3,511 件	3,013 件	-498 件	85.8%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1,357 件	1,392 件	1,294 件	-98 件	93.0%
⑤ 金品をたかられる。	259 件	218 件	253 件	35 件	116.1%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	902 件	1,016 件	966 件	-50 件	95.1%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1,107 件	1,158 件	1,147 件	-11 件	99.1%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	369 件	313 件	305 件	-8 件	97.4%
⑨ その他	416 件	374 件	391 件	17 件	104.5%

3 いじめの解消状況

(1) 各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R3	11,493 件	86.1 %	1,857 件	13.9 %	1 件	0.0 %	13,351 件
R4	10,557 件	86.2 %	1,688 件	13.8 %	1 件	0.0 %	12,246 件
R5	10,395 件	87.8 %	1,442 件	12.2 %	8 件	0.1 %	11,845 件

※「いじめの解消」の定義  
「いじめに係る行為が3か月止んでいること」  
「被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと」という2つの要件を満たすこと  
「いじめの防止等のための基本的な方針」(文部科学大臣決定 平成25年10月)

(2) 令和4年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	12,184 件	99.5 %	51 件	0.4 %	11 件	0.1 %	12,246 件

(3) 令和3年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R3	13,336 件	99.9 %	9 件	0.1 %	6 件	0.0 %	13,351 件

<分析等>

- 令和5年度の県全体のいじめの総認知件数は、前年度比96.7%と減少している。校種別では、小学校が前年度比94.6%に減少、中学校は106.9%に増加、高等学校と特別支援学校は横ばいとなっている。小学校では特に1年生から3年生の認知件数が減少しており、ロールプレイやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた道德の授業等による未然防止の取組みによって、無意識に相手を傷つける言動が減ったためと考えられる。一方、中学校の認知件数が増加しているが、コロナ禍前のように行事や部活動等が実施できるようになり、生徒間の関わりが増えたことが影響したためと考えられる。
- 「いじめ発見のきっかけ」としては、「アンケート調査等学校の実施により発見」が78.7%と最も高い。児童生徒だけでなく保護者も対象にアンケートを行うとともに、アンケート後にセットで面談を実施しているのは、全国でも山形県だけの取組であり、これがいじめの認知件数の高さにつながっているものと考えられる。
- 「いじめの態様」については、「ぶつかられる、叩かれる」といった身体的苦痛の認知件数が大きく減少した。一方で、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の件数が例年同様最も多くなっている。教職員が日頃の子どもたちの生活の様子を目配りする中で、折に触れて些細な言葉遣いや行動が相手に嫌な気持ちを起こさせることがあることを子どもたちに考えさせる指導を行い、子どもたちが周囲と円滑な人間関係を築いていけるよう支援していくことが大切である。

# 小学校調査結果

## 1 学校数

R5年度： ( 223 )

## 2 いじめの状況

### (1) いじめの認知件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R3	2,266 件	2,255 件	2,198 件	1,759 件	1,457 件	1,075 件	11,010 件
R4	1,880 件	2,055 件	2,003 件	1,652 件	1,366 件	973 件	9,929 件
R5	1,785 件	1,887 件	1,792 件	1,643 件	1,296 件	985 件	9,388 件
前年増減	-95 件	-168 件	-211 件	-9 件	-70 件	12 件	-541 件
前年比	94.9%	91.8%	89.5%	99.5%	94.9%	101.2%	94.6%

### (2) いじめの発見のきっかけ

	R3		R4		R5	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	241 件	2.2 %	265 件	2.7 %	197 件	2.1 %
アンケート調査等学校の取組により発見	8,124 件	73.8 %	7,859 件	79.2 %	7,681 件	81.8 %
本人からの訴え	1,304 件	11.8 %	811 件	8.2 %	718 件	7.6 %
本人の保護者からの訴え	1,189 件	10.8 %	846 件	8.5 %	687 件	7.3 %
その他	152 件	1.4 %	148 件	1.5 %	105 件	1.1 %

### (3) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R3	R4	R5	前年増減	前年比
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	6,776 件	6,205 件	6,160 件	-45 件	99.3%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	1,723 件	1,716 件	1,602 件	-114 件	93.4%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3,323 件	3,080 件	2,661 件	-419 件	86.4%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1,221 件	1,236 件	1,171 件	-65 件	94.7%
⑤ 金品をたかられる。	222 件	176 件	208 件	32 件	118.2%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	751 件	832 件	749 件	-83 件	90.0%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	995 件	1,007 件	999 件	-8 件	99.2%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	180 件	126 件	115 件	-11 件	91.3%
⑨ その他	340 件	320 件	326 件	6 件	101.9%

## 3 いじめの解消状況

### (1) 各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	8,593 件	91.5 %	1,335 件	14.2 %	1 件	0.0 %	9,929 件
R5	8,294 件	88.3 %	1,090 件	11.6 %	4 件	0.0 %	9,388 件

### (2) 令和4年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	9,886 件	99.6 %	42 件	0.4 %	1 件	0.0 %	9,929 件

### (3) 令和3年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R3	11,003 件	99.9 %	7 件	0.1 %	0 件	0.0 %	11,010 件

## 中学校調査結果

### 1 学校数

R 5年度： ( 95 )

### 2 いじめの状況

#### (1) いじめの認知件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	合計
R3	1,063 件	667 件	310 件	2,040 件
R4	1,121 件	613 件	320 件	2,054 件
R5	1,157 件	650 件	389 件	2,196 件
前年増減	36 件	37 件	69 件	142 件
前年比	103.2%	106.0%	121.6%	106.9%

#### (2) いじめの発見のきっかけ

	R3		R4		R5	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	103 件	5.0 %	106 件	5.2 %	115 件	5.2 %
アンケート調査等学校の取組により発見	1,275 件	62.5 %	1,442 件	70.2 %	1,461 件	66.5 %
本人からの訴え	396 件	19.4 %	297 件	14.5 %	346 件	15.8 %
本人の保護者からの訴え	182 件	8.9 %	131 件	6.4 %	211 件	9.6 %
その他	84 件	4.1 %	78 件	3.8 %	63 件	2.9 %

#### (3) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R3	R4	R5	前年増減	前年比
① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1,298 件	1,254 件	1,383 件	129 件	110.3%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	263 件	272 件	260 件	-12 件	95.6%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	381 件	396 件	326 件	-70 件	82.3%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	127 件	144 件	119 件	-25 件	82.6%
⑤ 金品をたかられる。	30 件	37 件	37 件	0 件	100.0%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	138 件	169 件	207 件	38 件	122.5%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	99 件	136 件	137 件	1 件	100.7%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	136 件	157 件	163 件	6 件	103.8%
⑨ その他	49 件	41 件	52 件	11 件	126.8%

### 3 いじめの解消状況

#### (1) 各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	1,746 件	85.0 %	308 件	15.0 %	0 件	0.0 %	2,054 件
R5	1,883 件	85.7 %	312 件	14.2 %	1 件	0.0 %	2,196 件

#### (2) 令和4年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	2,046 件	99.6 %	8 件	0.4 %	0 件	0.0 %	2,054 件

#### (3) 令和3年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R3	2,038 件	99.9 %	2 件	0.1 %	0 件	0.0 %	2,040 件

# 高等学校調査結果

## 1 学校数

R 5年度： ( 53 )

## 2 いじめの状況

### (1)いじめの認知件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	合計
R3	122 件	64 件	63 件	249 件
R4	114 件	58 件	35 件	207 件
R5	93 件	79 件	33 件	205 件
前年増減	-21 件	21 件	-2 件	-2 件
前年比	81.6%	136.2%	94.3%	99.0%

### (2)いじめの発見のきっかけ

	R3		R4		R5	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	7 件	2.8 %	18 件	8.7 %	11 件	5.4 %
アンケート調査等学校の取組により発見	188 件	75.5 %	131 件	63.3 %	142 件	69.3 %
本人からの訴え	26 件	10.4 %	40 件	19.3 %	32 件	15.6 %
本人の保護者からの訴え	19 件	7.6 %	14 件	6.8 %	12 件	5.9 %
その他	9 件	3.6 %	4 件	1.9 %	8 件	3.9 %

### (3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R3	R4	R5	前年増減	前年比
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	148 件	135 件	131 件	-4 件	97.0%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	46 件	44 件	61 件	17 件	138.6%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	11 件	18 件	16 件	-2 件	88.9%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	4 件	6 件	1 件	-5 件	16.7%
⑤ 金品をたかられる。	7 件	5 件	8 件	3 件	160.0%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	12 件	13 件	7 件	-6 件	53.8%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	10 件	9 件	6 件	-3 件	66.7%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	53 件	29 件	24 件	-5 件	82.8%
⑨ その他	23 件	9 件	11 件	2 件	122.2%

## 3 いじめの解消状況

### (1)各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	169 件	81.6 %	38 件	18.4 %	0 件	0.0 %	207 件
R5	172 件	83.9 %	30 件	14.6 %	3 件	1.5 %	205 件

### (2)令和4年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	196 件	94.7 %	1 件	0.5 %	10 件	4.8 %	207 件

### (3)令和3年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R3	243 件	97.6 %	0 件	0.0 %	6 件	2.4 %	249 件

## 特別支援学校調査結果

### 1 学校数

R5年度： ( 18 )

### 2 いじめの状況

#### (1) いじめの認知件数及び学部別内訳

	小学部	中学部	高等部	合計
R3	10 件	11 件	31 件	52 件
R4	6 件	11 件	39 件	56 件
R5	12 件	12 件	32 件	56 件
前年増減	6 件	1 件	-7 件	0 件

#### (2) いじめの発見のきっかけ

	R3		R4		R5	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	2 件	3.8 %	11 件	19.6 %	7 件	12.5 %
アンケート調査等学校の取組により発見	30 件	57.7 %	28 件	50.0 %	37 件	66.1 %
本人からの訴え	6 件	11.5 %	9 件	16.1 %	6 件	10.7 %
本人の保護者からの訴え	8 件	15.4 %	6 件	10.7 %	3 件	5.4 %
その他	6 件	11.5 %	2 件	3.6 %	3 件	5.4 %

#### (3) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R3	R4	R5	前年増減	前年比
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	31 件	26 件	30 件	4 件	115.4%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	8 件	2 件	7 件	5 件	350.0%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	17 件	17 件	10 件	-7 件	58.8%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	5 件	6 件	3 件	-3 件	50.0%
⑤ 金品をたかられる。	0 件	0 件	0 件	0 件	-
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	1 件	2 件	3 件	1 件	150.0%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	3 件	6 件	5 件	-1 件	83.3%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0 件	1 件	3 件	2 件	300.0%
⑨ その他	4 件	4 件	2 件	-2 件	50.0%

### 3 いじめの解消状況

#### (1) 各年度調査時の状況

	学部	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他		合計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	小学部	5 件	83.3 %	1 件	16.7 %	0 件	0.0 %	6 件
	中学部	9 件	81.8 %	2 件	18.2 %	0 件	0.0 %	11 件
	高等部	35 件	89.7 %	4 件	10.3 %	0 件	0.0 %	39 件
	小中高総計	49 件	87.5 %	7 件	12.5 %	0 件	0.0 %	56 件
R5	小学部	8 件	66.7 %	4 件	33.3 %	0 件	0.0 %	12 件
	中学部	11 件	91.7 %	1 件	8.3 %	0 件	0.0 %	12 件
	高等部	27 件	84.4 %	5 件	15.6 %	0 件	0.0 %	32 件
	小中高総計	46 件	82.1 %	10 件	17.9 %	0 件	0.0 %	56 件

#### (2) 令和4年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	6 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	6 件
中学部	11 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	11 件
高等部	39 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	39 件

#### (3) 令和3年度認知分の令和5年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他(転校等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	10 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	10 件
中学部	11 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	11 件
高等部	31 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	31 件



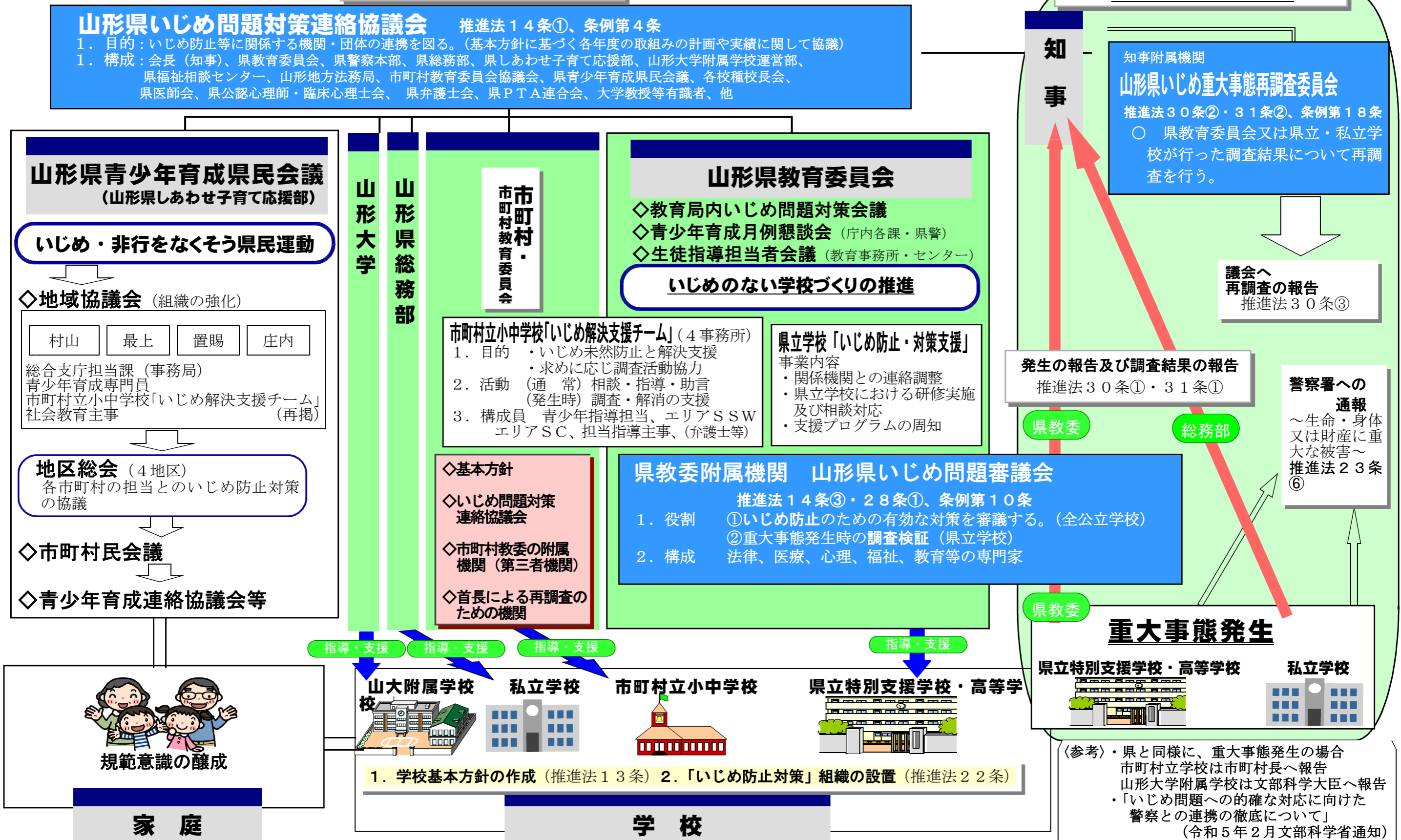
# いじめ問題等への組織的対応に係る全体構造

山形県いじめ防止基本方針 推進法 12 条、条例第 3 条 → ◎いじめ防止等に係る対策の基本的な方向性 及び 対策の主な内容

※条例は、目的や附属機関など中核的な部分のみ規定

## いじめの防止対策

## 重大事態発生時



# 令和6年度いじめの防止等に向けた取組み

重点1

## 未然防止

- ☆児童生徒が安心できる「居場所づくり」
  - ・わかる・規範意識を育む授業づくり
- ☆児童生徒が主体的に取り組む「絆づくり」
  - ・話し合い活動の充実
  - ・児童会・生徒会活動による自浄力の育成
- ☆「いじめを許さない・見逃さないためのリーフレット」の活用
- ☆情報モラル教育の推進
  - ・講演会・研修会や教科における指導の計画的な実施
  - ・PTAとの連携による取組みの強化
- ☆外部専門家等の活用の推進
  - ・ネットやコロナ関連のいじめ防止に関する児童生徒、保護者への啓発
- ☆「いじめ・非行をなくそう“やまがた県民運動の実施」
  - ・街頭運動や啓発活動等の実施

重点2

## 早期発見・早期対応

- ☆児童生徒の示すいじめや悩みの兆候を把握する仕組みや発見ツールの工夫
  - ・教職員や保護者、児童生徒の気付きを促すチェックリストやアンケート等の工夫
  - ・県教育センター作成ハンドブックの活用
- ☆児童生徒や保護者が相談しやすい環境づくり
  - ・各学校のいじめ防止基本方針の見直しと保護者への周知
  - ・児童生徒が示す様々なサインを見逃さず、素早く対応できる教育相談体制の充実
- ☆スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用
  - ・ケース会議等における心理的福祉の観点からの指導助言、実態把握

重点3

## 適切な対応

- ☆いじめ防止基本方針に沿った各学校の体制づくり
  - ・各学校のいじめ防止基本方針に沿った点検・評価・改善のサイクルの確立
  - ・教職員間の情報共有、組織対応の徹底
  - ・アンケートやチェックリストの見直しと効果的な活用、面談結果の整理と共有、組織的な活用
- ☆市町村教育委員会への支援
  - ・重大事態対応への支援
  - ・各調査の結果等をもとにした、情報提供や指導・助言
- ☆スクールロイヤーの活用

### 調査に関すること

- (1) 定期調査・問題行動等調査による報告(1~3期)
  - ・いじめの認知状況・解消状況・発見のきっかけ・態様等の把握
  - ・調査結果を受けた各学校におけるいじめ対策への評価
- (2) いじめ発見調査アンケートと面談の実施(6・11月)
  - ・チェックリストや保護者アンケートも活用した積極的ないじめの認知
  - ・いじめの認知能力の向上、いじめ問題への的確な対応
- (3) 各市町村教育委員会における基本方針策定・組織の設置状況調査
  - ・いじめ問題への組織的な対応への支援、指導・助言



### 施策に関すること

- (1) いじめ・不登校未然防止推進事業
  - ①いじめ・不登校防止連絡協議会の開催(4教育事務所で開催)
  - ②各地区での「居場所づくり」「絆づくり」「のりしろづくり(小中連携)」の取組みの普及
- (2) いじめ解決支援チームの設置(4教育事務所)
  - ・青少年指導担当・エリアSSWによる未然防止、重大事案への対応
- (3) 「いじめ防止対策支援プログラム」の普及と活用(県教育センター)

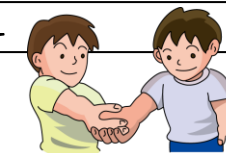
### 会議に関すること

- (1) 教育事務所等生徒指導担当者会
  - ・いじめの認知状況、解消状況、態様等の分析
  - ・各学校のいじめ防止基本方針の検証
- (2) 不登校未然防止連絡協議会
  - ・4教育事務所単位のいじめ・不登校未然防止、初期対応の推進
  - ・「居場所づくり」「絆づくり」「のりしろづくり」の取組みの普及
  - ・「いじめを許さない・見逃さないためのリーフレット」の活用促進



- (3) 山形県いじめ問題審議会
  - ・いじめの実態に関する考察と施策の効果検証

- (4) 山形県いじめ問題対策連絡協議会
  - ・効果的な施策の実施に向けた関係機関等の連携強化



令和5年度の取組み実績

1 小・中学校・特別支援学校の児童・生徒を対象とする取組み

○標語の募集・周知

- ・夏休み前から県内全小・中・特別支援学校に対し標語を募集
- ・県内4地区の327校・53,068通の応募から優秀作品4点を選定
- ・優秀標語をポスターや県民運動情報誌に掲載した周知・啓発

<令和5年度優秀標語>

- 村山: その文章 スマホの向こうで泣いてるよ (河北町・中3 太田 琴海さん)
- 最上: 守りたい 私の言葉で あなたの笑顔 (大蔵村・中3 門脇 里奈さん)
- 置賜: 「どうしたの」「だいじょうぶ」やさしい声が心をひらく (白鷹町・小4 安部 晏理さん)
- 庄内: 助けたい 自分の勇気で 変わる未来 (庄内町・中2 梅木 愛咲さん)



県立山形中央高等学校2年 清野 大志さん 作

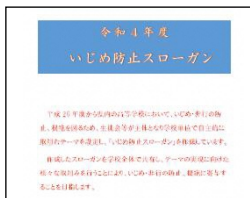
2 高等学校の生徒を対象とする取組み

○ポスターデザインの作成

- ・運動の啓発用ポスター12点の応募があり、優秀作品1点を選定

○いじめ防止スローガンの作成

- ・公立校49校、私立校3校にてスローガンを作成



3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

○山形県青少年健全育成県民大会の開催

- ・10月29日 新庄市民プラザで開催(事務局:最上地区) 青少年健全育成関係者約200名が参加し、大会宣言を承認

○いじめ・非行防止セミナーの開催(県民大会と同日開催)

- ・最上地区(最上町)の実践活動事例の発表
- ・東京家政大学人文学部教授、杉山 雅宏氏による講演



○インターネットに関する研修会の開催

- ・11月28日 県庁講堂で開催(講師:消費生活相談員 安達美紀氏)

○「児童・生徒と地域の大人の対話会」の開催(4地区)

- ・県内の各地区単位で、児童・生徒と地域の大人が互いに向き合い、いじめ防止について話し合う対話会を開催。
- ・大人・子どもそれぞれが、学校内の取組みだけに限らないいじめ防止のあり方を幅広く考えることを意図し、地域に根ざした形で対話する場を設定(ワークショップ形式)



○モンテディオ山形ホーム戦での普及啓発活動の実施

- ・11月12日 山形県総合運動公園にて、運動啓発用のポケットティッシュを配布



○缶バッジや横断幕等啓発物品の活用(ジョングナホール展示等)

4 各地域における運動の展開(地区協議会・市町村民会議)

○街頭運動・地域行事や企業訪問における啓発

○講演会や研修会等の開催

- ・青少年育成推進員向けのいじめ・非行防止研修会等

○広報誌の発行・配布等による情報発信 etc...



○評価と▲課題

1 小・中・特別支援学校を対象とする取組み

- 取組みが定着し、各学校で初期段階のいじめを含め、早期発見・早期解決する意識が醸成されている(いじめ認知件数の増加=相談しやすい環境と評価)。

- ▲児童・生徒が毎年入れ替わるため、今後も継続的な取組が必要。

2 高校生を対象とする取組み

- 生徒会を中心に継続的な取組みがあり、いじめ防止意識の醸成や取組みが定着。

- ▲活動が校内に留まり、地域(県民)への波及が不十分。

3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

- 地域の活動事例の共有、いじめ防止やネット社会の課題についてセミナーを実施。年に一度、活動者等が一堂に会することで県全体の情報共有と機運醸成が図られた。

- 「対話会」事業では、青少年のリアルな声を聞き、いじめ・非行の防止や地域の話題で話し合うことで世代間交流が図られた。

- 夏の安全県民運動に合わせ、関係機関等に改めて周知を図ることで、運動の徹底が図られている。

- 県民会議から共催、協賛呼び掛け団体による情報発信を促すことで、社員等をはじめ、県民の意識醸成に寄与している。

- ▲GIGAスクール端末による影響で、青少年のネット利用の長時間化が一層進んでおり、SNSを介したいじめや犯罪被害も懸念される。これらの社会情勢(課題)の変化に対応した知識の習得と、情報共有が必要。

- ▲団体、地域によって取組みに温度差があり、さらに県民に運動を浸透させるため、通年での啓発が必要。

4 地域における運動の展開支援

- 各地域の実情に沿って精力的に運動が展開されており、県全体の非行少年等の補導・検挙数は減少傾向。

- ▲地域内での情報共有・交流が中心のため、地域を超えた好事例の展開等が必要。

令和6年度の運動方針と主要事業

1 小・中・特別支援学校を対象とする取組み

○標語の募集・周知(継続)

○各地区優秀標語の広報(継続)

- ・最優秀標語4点を掲載したポスター配布(継続)に加え、各地区毎の優秀標語について県民会議ホームページ、県SNS等で全県へ広報する。

2 高校生を対象とする取組み

○いじめ防止スローガン・ポスターの募集(継続)

○いじめ防止スローガンの広報(継続)

- ・スローガンについて、県民会議ホームページ(継続)及び県SNS等に掲載し、各高校の活動を県民に広く周知し、活動の広がりを図る。

3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

○「いじめ・非行防止セミナー」開催(継続)

- ・地域活動実践者のニーズと社会情勢に合わせたテーマを選定し、その道の有識者を招いた講演等を行うセミナーを継続する。

○インターネットに関する研修会の開催(継続)

- ・青少年のネット利用の現状を学び、安全に利用するための対策に関する指導者向けの研修会を開催。

○「児童・生徒と地域の大人の対話会」の開催(継続)

- ・各地区毎に児童生徒と地域の大人が、いじめ非行の防止や地域の実情に沿ったテーマで話し合う対話会の開催を継続する。
- ・各地区での開催に当たり、その経費について財政面での支援を行う。

○県内民間企業等と連携した啓発活動(継続)

- ・協賛企業や団体への働きかけを強化し、新たな会員の獲得、連携した広報・啓発活動を更に推進する。

- 青少年のネット利用について、発達段階に応じた保護者による適切な管理(ペアレンタルコントロール)の推進・啓発(継続)

4 地域における運動の展開支援

- ・各地区・市町村で展開される取組みへの助言及び財政的支援を継続。

- ・県で集約した地域の活動実績をフィードバック又は広く発信し、地域活動の更なる活性化を図る。

令和6年5月27日

山形県警察本部

## いじめ問題に対する警察の取組について

## 1 山形県警察における認知状況

## (1) いじめに関する相談

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
受理件数	26	12	11	9	27

## (2) いじめに起因する事件

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
検挙件数	0	2	0	0	0

## 2 基本的な考え方

学校におけるいじめ問題については、教育上の配慮等の観点から、一義的には教育現場における対応を尊重しつつも、犯罪行為がある場合には、被害少年や保護者の意向、学校の対応を踏まえながら、必要な措置を執る。

## 3 警察によるいじめ事案への対応状況

## (1) いじめ事案の早期把握

ヤングテレホン（少年相談専用電話）、少年相談メール、警察安全相談専用電話（#9110）等の相談窓口を設置し、いじめ事案の相談を幅広く受け付け、事案の早期把握に努めている。

## (2) 関係機関との連携

山形県学校警察連絡制度を活用し、教育関係機関といじめ事案に関する情報交換・情報共有を図っている。

## (3) スクールサポーターの活用

各学校からの要請に基づきスクールサポーターを派遣して、校内外の安全確保とあわせて、いじめ事案に関する情報収集や助言指導に当たっている。

## 山形県PTA連合会「親学」補助事業 (いのちの大切さ・人権教育に関する学習会)

令和5年度は、7団体が申請しそれぞれ、講演会・研修会を開催した。

山形市PTA連合会：「家庭・地域での性教育」～産婦人科医からお伝えしたいこと～

上山市PTA連合協議会：「いのちの授業」

最上地区PTA協議会：「睡眠で変わります。～寝つきをよくするためのポイント～」

米沢市PTA連合会：「教育講演会～子育て講座」

東置賜地区PTA連合会：「多様性を受け入れる『正解のない時代』へのナビゲーション」

鶴岡市PTA連合会：「自分らしく生きる」

酒田飽海PTA連合会：第9回酒田飽海PTA連合会研修大会「食の大切さ」

## 山形県内PTA協働参画型発信事業 「いじめのない環境をこの山形から」への補助事業

令和5年度は、5団体が申請しそれぞれ、講演会・研修会・活動を行った。

天童・東村山地区PTA連合会：「怒りをコントロールしてもっと仲良く  
～いじめ防止に活かすアンガーマネージメント～」

米沢市PTA連合会：「いじめについて考え、東部小から地域へ広げよう」

東置賜地区PTA連合会：「インターネットの危険性と安全な利用の仕方」

鶴岡市立鶴岡第五中学校PTA：「SNS五箇条 強調週間」(継続)

酒田市立黒森小学校PTA：「黒森少年歌舞伎・少年太鼓の取り組み」(継続)

令和6年度は山形県PTA連合会「親学」補助事業(いのちの大切さ・人権教育に関する学習会)を行う予定です。